



う な ば ら 海原

題字河原孝好先生

海城中学高等学校同窓会誌

発行
2022年12月10日
第56号

海原会
発行人 徳光和夫
編集責任者 小西洋也

〔海原会事務局〕

〒169-0072 東京都新宿区大久保3-6-1 海城学園
TEL 03-6233-9631 FAX 03-6233-9641
ホームページ URL <http://www.unabarakai.jp>



第101回海原総会 「縁は運によって 運は縁によって」

本日はオンラインという形で海原会総会にかくも沢山の方がご参加いただき誠にありがとうございます。ZOOMとかオンラインとかにまだ少し抵抗感をお持ちの先輩方もいらっしゃると思います。正直どれだけの人が参加してくれるのか心配しておりましたが、杞憂でした。

もはやコロナも3年目、リモートも当たり前になったというのでしょうか。

ITをイットと言った人がありますが、まさにITの新しい時代となっています。今回は学校の施設設備をお借りしてこのよう

海原会会長 徳光和夫 (昭和34年卒)

うなオンライン総会が実現しているのですが、このような立派な充実したICT(情報通信技術)ラボを持つている学校はないようにして、ここでも学園の先取の精神がみとれます。海原会の101回目の総会がこのような形で開催されたことは次の100年に向けた海原会の新世代の幕開けを象徴するものではないでしょうか。

さて先日私、仕事で博多に参りましてある飲み屋に立ち寄ったのですが、その店に「縁は運によってつながり、運は縁によって引き寄せられる」という格言というか人生訓と言いますか、張り紙をみつけまして、あ、わが同窓会の神髄はこれだと感じました次第であります。思えば私も海城という学校に入ったことで先生方や先輩後輩、同窓生、友人と縁ができて今日がある訳でして、海城学園という縁が出来たことによつていつまで経っても先輩、後輩という関係ができて、さらにその関係が広がつてそのような縁によつて運が引き寄せられたということではないでしょうか。以前にもご紹介したように私の友人がなぜ海城の同窓会はそんなにうまくいっているのだといつもうらやましそうに申すのですが、海城学園という縁を皆が大事に思っているということなのではないでしょうか。その縁が運を引き寄せてさらなる縁をつくりということではないでしょうか。

いま毎年学園で成人を祝う会をその歳の卒業生が行っているそうです。海原会も応援しているのですが、その出席率が80パーセントとか90パーセントとかほとんど全部の卒業生が集まるということです。卒業して2年しか経っていないのにと思うのですが、これも男子校ならではの縁の強さでしょう。いまや学園は単に進学校としての受験校ではなく幅広い分野に関心をもちそこで成果を上げている。これは実にすばらしいことだと思えます。海原会の未来はさらに明るいものになることを祈りまして挨拶に代えたいと思います。

※海原会は皆様の会費で運営されております。



海原会の存在自体が母校の大きな力

海原会総会の開催おめでとうございます。今年も新型コロナウイルス感染症予防のため、会員が一堂に会することは出来ませんでした。残念ではありますが、これまで参加出来なかった地方や海外在住の方々や多忙な方々にとりましては今年も参加の機会が生まれたのかもしれない。リモート開催の実現にご苦労

め優秀な人材を求め、また最新の施設設備を整えております。そして常に新しい流れへの挑戦を続けております。しかしその一方で人間の成長段階で最も基礎を作るであろう中学高校の六年間に幅広い経験が出来ていくのが心配なところです。限られた人たちの中で育ちそして学ぶ環境は多様な青少年時代に社会の多様性により期待致しております。

理事長 古賀喜博
(昭和33年卒)

母校のICTラボから発信 新理科館をライブ中継で紹介

海原会総務委員長 昭和62年卒 国井信男

今年の海原会総会は、海城学園にあるICTLAB（アイシーティラボ）をお借りしてオンラインで開催しました。オンラインで海原会員と繋がる取り組みは、昨秋の海原会創立100周年記念総会に引き続くものです。2回目とあつて昨秋よりスムーズに運営できたと思われる部分も、新たな課題が見つかった部分もありましたが、大きな通信障害もなく進行することができました。海城学園にあるICTLAB（アイシーティラボ）は海城生のICT教育やオンラインでの入試広報の発信などを行う海城学園が誇る最新設備です。

総会は徳光和夫海原会会長（S34）・古賀喜博理事長（S33）・柴田澄雄校長の挨拶、小西洋也副会長（S41）による1年間の活動報告のあと、初めての試みとして昨秋完成した新理科館からの生中継を行いました。塩田顕一郎さん（H03）がほぼ全館、施設を紹介するところを総務委員の松長哲聖さん（S62）がハンディカメラを持って追いかけてライブ中継するという形で行われました。まさにテレビ中継並みの離れ業ですが、新型コロナウイルスの影響さえなければ、総会



多様性を学んで、海城の「つながり」を創造

海原会の皆様、令和4年度海原会定期総会の開催、おめでとうございます。海原会創立100周年、次の100年のスタートを教職員・在校生と共に心からお祝い申し上げます。コロナ禍ではありますが、本年度は333名の元氣一杯の新中学1年生を迎えることができました。生徒数は、中学が989名、

高校は945名、計1934名が在籍しております。また大学入学者数も昨年度は東京大学に57名、京都大学に8名、国公立の医学部に37名、早慶には合わせて316名など、安定した結果になってきております。海外大学進学は5名。カリフォルニア工科大学、スワースモア大学、ミオン大学、トロント大学にそれぞれ進学予定です。海外にチャレンジする海城生も着実に増加する傾向にあります。今後とも国内外大学進学が一層の成果がでるよう、教職員一同全力を挙げて邁進してまいります。さて、私は海城に来てから本年度8年目となりますが、日頃から教育には長期的視野を持って、生徒の成長を見守るべきと考えています。実社会では多くの人とチームを組んで仕事を進める場合が多いです。中等教育6年間の先輩・同輩・後輩の縦と横のつながりは貴重で、勉強のみならず、部活動や生徒会行事など校内活動に積極的に参加して、新しい仲間と対話し多様性を学んで、海城の「つながり」を創造して、社会性や人間性を身に付けて、貰いたいと思っております。

校長 柴田澄雄



に会場した多くの海城OBが見学することができたはずの新理科館を、会場をできない海外在住の海城OBをふくめ多くの人がオンラインで見学できたと感激の声を頂きました。それもこれもIT技術に詳しい若手メンバーの努力と協力によって実現したのですがこれからの海原会のデジタル化への第一歩としては画期的なことでした。総会の最後はこれまでは海城吹奏楽団の生演奏による校歌斉唱でしたが、これはかなわず今年は音源を伴奏に、各自の校歌独唱となりました。ただし、ZOOMに映った数多くの同窓もそれぞれ歌っていましたので、それなりに一体感はあったと思います。

総会後のZOOM懇親会

また総会後は通常であればカフェテリアに場所を移しての懇親会となりますが、今年は年代、部活、職業別にオンラインの各部屋に分かれて、ZOOMでの懇親会を行いました。各部屋ではOBの懇親が行われ、そこに徳光会長が巡回で訪問するという形式でした。巡回した先で徳光会長は海城OBから質問をうけたり、得意の俳句をひねったり、独演会の様相もありましたが、皆さん楽しんでいただけたようでした。「来年は実際に集まれることを信じて、日々を大切に過ごしていきたい」との徳光会長の言葉で懇親会は終了しました。少しづつ、新型コロナの向き合い方は変わりつつあります。海原会の総務委員会では、リアルとオンラインの併用も考えに入れながら、来年の総会のあり方について議論を進めてまいります。

会計幹事 昭和62年卒 景山昇一

○2021年度海原会決算について

収入の部は、永年会費、年度会費、寄付金の全てが順調に入金され、予算比で約100万円の増収となった。明確な増加要因は不明であるが、過去の収入データを確認したところ1年ごとに増減を繰り返している状況が読み取れた。2021年度は増加の年にあたったようである。

支出の部は、概ね予算通りの支出であったといえるが、個別的には、通信費が会員所在確認に係る郵送費の増加で予算を上回った一方、会報印刷費や百周年記念事業費が予算を下回る支出となり、全体としては予算を50万円程度下回る支出となった。

以上の結果、予算では、百周年記念事業開催等の特殊要因を踏まえて約215万円の大幅な赤字決算を想定していたが、約64万円の赤字決算という良好な結果となった。

○2022年度海原会予算について

収入の部は、2021年度は非常に順調であったものの、今年度の予測がつかないことから、過去5年間の収入金額の平均金額を基に予算計上を行うこととした。

支出については、概ね前年度予算を踏襲する形で計上したが、個別的には以下の事情を考慮した。会議費については、総会をオンライン開催とすることを予定しているため、ZOOMを多人数対応へバージョンアップする予算を計上した。備品費については、海原会ホームページのセキュリティ対策費を昨年予算計上していたが、実現していないことから今年度も同額を予算計上した。なお、記念品費及び百周年記念事業費については、今年度は計上しない。以上の収入及び支出の予算計上を行った結果、当年度損益として約1万円の黒字予算となった。

2021年度決算・2022年度予算

(2022年4月1日～2023年3月31日)

単位=円

収入の部	2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算	備 考
永年会費	2,000,000	2,605,000	2,100,000	近年の実績を考慮
年度会費	600,000	822,000	650,000	近年の実績を考慮
入会金	3,130,000	3,120,000	3,040,000	卒業生304名を予定
総会参加費	0	0	0	総会はオンライン開催を予定
寄付金	200,000	362,500	300,000	近年の実績を考慮
雑収入	1,000	53	1,000	受取利息他
合計	5,931,000	6,909,553	6,091,000	
支出の部	2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算	備 考
会議費	30,000	22,110	100,000	ZOOM利用費 多人数に対応へ
総会運営費	0	0	0	総会はオンラインを予定
会報印刷発送費	4,800,000	4,617,091	4,800,000	各回発行部数17,800部で見積り
会報編集費	50,000	0	50,000	
通信費	170,000	238,913	200,000	会員所在確認の為の郵送費
後援活動補助	200,000	200,000	200,000	吹奏楽団後援
慶弔費	20,000	6,798	20,000	
振替手数料	30,000	66,455	30,000	
賃借料	60,000	54,988	60,000	
事務費	150,000	141,766	150,000	
海原会賞	20,000	20,000	20,000	実績から受賞者2名で予算確保
備品費	200,000	1,705	200,000	HPのセキュリティ強化予算の確保
海城祭参加費	50,000	0	50,000	前年予算並を確保
寄付金	200,000	200,000	200,000	成人式祝い金
記念品費	300,000	276,650	0	記念品購入予定無し
百周年記念事業費	1,800,000	1,707,491	0	
法人税等	0	0	0	今年度から予算項目より削除
合計	8,080,000	7,553,967	6,080,000	
前年度繰越利益金	11,333,110	11,333,110	10,688,696	
当年度損益	▲2,149,000	▲646,414	11,000	
次年度繰越利益金	9,184,110	10,688,696	10,699,696	



新理科館のライブ中継



ZOOM懇親会

2021年度の活動報告

新メンバー加入で令和4年度からの新体制発足 デジタル化に対応する部会を新設

昨年引き続き、海原会の活動は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、対面での活動を制限、または、規模の縮小を余儀なくされました。海原会の運営の元となる役員会は全てオンラインにて行われました。会計監査は一部リモート対応となりました。令和3年度で任期が満了となる役員の人事や予算・決算などを承認するべき常任幹事会は昨年度に引き続き集まることを避けて、書面での対応となりました。その他、海城祭での海原会サロン、ゴルフ大会、見学会はいずれも中止となりました。

そのような困難な時期にも関わらず、海原会の委員に立候補してくださった方がいらっしゃいました。

令和4年度から、深田誠さん（昭和53）には総務委員会副委員長に・八田耕治さん（昭和52）・宮里桂太さん（昭和53）には事業企画委員に就いていただくことになりました。また、海原会百周年事業に力を出していただいた高山智司さん（平成1）には広報委員と会報部員、川田洋之助さん（昭46）・樵裕介さん（平2）に会報部会の部員、H.P.部会を発展的に改組したデジタル部会の部員には前出の高山智司さん（平1）・樵裕介さん（平2）の他に津村大樹さん（平20・古木椋さん（平22）に就いていただくことになりました。（総務委員長 S.62年 国井信男）

海原会役員（2022年度より）

会長	徳光 和夫（昭34）
副会長	池内 宏（昭33）
会計幹事	景山 昇一（昭62）
監査幹事	安藤 浩（昭34）
総務委員会	長沼 徳宏（平4）

担当副会長	森山 昭洋（昭41）
委員長	国井 信男（昭62）
委員	中村 久憲（昭48）
事業企画委員会（3部会）	副委員長 深田 誠（昭53）
担当副会長	池内 宏（昭33）
委員長	石黒 淳一（昭47）
委員	八田 耕治（昭52）
宮里 桂太（昭53）	

サロン部会	森山 昭洋（昭41）
部長	副部長 片山 忠美（昭28）
部員	池内 宏（昭33）
青木 一雄（昭34）	
栗原 敏朗（昭34）	
杉山 紘千佳（昭36）	
小西洋 也（昭41）	
市川 治男（昭43）	
石黒 淳一（昭47）	
国井 信男（昭62）	

見学部会	杉山 紘千佳（昭36）
部長	副部長 山本 満男（昭27）
部員	部員 間多 洋彰（平15）

ゴルフ部会	石黒 淳一（昭47）
部長	副部長 荒尾 純平（昭57）
部員	吉岡 幸夫（昭32）
伊藤 邦正（昭36）	
岡本 隆雄（昭36）	
林 昭策（昭36）	
梶 宏光（昭37）	
鷺田 和雄（昭37）	
小西洋 也（昭41）	
岡川 清明（昭44）	
坂本 明久（昭57）	
吉岡 太二（昭57）	
国井 信男（昭62）	

第29回定期演奏会 YouTubeで配信も

第29回定期演奏会は3月30日になかのZERO大ホールで開催しました。感染対策の関係上、入場していただけるのは事前にチケットをお渡しした方のみとなりましたが、現役、卒業生にかかわらず代の垣根を超えて、多くのことに対してチャレンジしていました。

感染拡大によって度々練習が中断される中、コロナ禍前に迫る程の曲数を演奏し、YouTubeの配信もすべて生徒が独学で設定から実際の配信まで行い、演奏する曲

も生徒自身で編曲するなど、前例のない事にも果敢に挑む姿に心を動かされました。さらなる挑戦を経た彼らの姿は来年4月3日に行われる第30回定期演奏会でご覧になることができます、是非お越しください！

<https://www.youtube.com/c/%E6%B5%B7%E5%9F%8E%E5%90%B9%E5%A5%8F%E6%A5%BD%E5%9B%A3/featured>

B% A3/ featured



（海城吹奏楽団団長 令和3年卒 小野輝）



令和3年卒

「成人を祝う会」のお知らせ

1月8日（日）午後3時より母校の講堂で行います（受付・開場は2時半から）。当日は帰国生入試の手続きが校内で行われているため講堂以外の場所への立ち入りが禁じられています。また、開場時間よりも前のご来校はご遠慮頂きます。何卒ご協力の程よろしくお願い致します。

令和3年卒常任幹事 船田遼修

担当副会長 小西洋也(昭41) 委員長 杉山紘千佳(昭36) 委員 高山智司(平1)

会報部会

部会長 小西洋也(昭41)

部会長 片山忠美(昭28)

部会長 大町一夫(昭51)

部会長 岡本浩太郎(平2)

デジタル部会

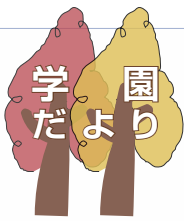
部会長 岡本浩太郎(平2)

部会長 高山智司(平1)

部会長 樵裕介(平2)

部会長 津村大樹(平20)

部会長 古木 椋(平22)



入試広報室

塩田 顕一郎

(平成33年卒)



懐かしのロッテ新宿工場は今

「海城と言えばガムの香り」昭和世代の海城OBは口を揃えて皆そう言います。私が在学していた頃は教室の窓を開けると、すぐ近くのロッテ新宿工場からチューインガムの甘い香りが漂ってきて、ミントだ、梅だとガムの味まで推測したものでした。



また、ロッテ新宿工場にはロッテオリオンズの球団事務所も一時期ありましたので、村田兆司や落合博満などロッテのスター選手が契約更改の際にはここまで来ていました。ロッテファンの同級生が工場周辺で選手に会えない

かとうろろろしていたのを思い出します。

しかし、1950年3月から半世紀以上に渡りチューインガムを製造してきたロッテ新宿工場は2013年に操業停止となり、ガムの香りが海城の教室を包み込むことはなくなりました。完全に閉鎖された工場はしばらくそのままでしたが、2017年から解体工事がはじまり、2019年1月に「ハウジングステージ新宿」という住宅展示場として生まれ変わりました。

かつては工場裏側の狭い一方通行の道路が通学路として使われていたが、いまは住宅展示場と山手線の線路の間に広々とした2車線の道路が完成しましたので、生徒達は住宅展示場と並行して上り下校しています。



3年生が家庭科「住居分野」の授業の一環として、普段は横を通り過ぎただけだった住宅展示場をはじめ訪れ、見学実習をおこないました。見学実習の目的は、各社の技術の粋を集めたモデルハウスを訪ね、間取りや空間を体感しつつ、住宅の構造や性能、最新設備について学ぶことです。生徒たちは見学実習後、自分の住居観を見つめ、理想の住まいについての発表に取り組みました。

私も見学実習に同行させてもらいましたが、生

この度海城学園と縁の深い利根山光人氏の作品が1号館のエントランスに展示されました。

小説「ドン・キホーテ」の騎士をモチーフにした作品です。メキシコに魅せられて太陽の画家とも称される作者のはつらつとした色彩に目を惹かれます。終戦間もないころ一時、利根山光人氏は本校の美術の先生でもあり、当時の校友会誌の表紙絵を描かれたり、現在の海城学園の校章をデザインされました。利根山先生が1994年に亡くなったあとも、利根山先生のアトリエには当時の教え子が集い、利根山先生の奥様を囲んで芸術談義や思い出を語り合っていました。今回の作品は利根山先生の奥様から学園に寄贈されたもので、このような奥様との交流のなかで利根山先生に学んだ二人でいらつしやる山本満男さん(S27年卒)を通して実現したものです。

利根山先生の「騎士」寄贈される卒業生作家の寄贈作品の学内展示も増える

利根山氏の「騎士」寄贈される卒業生作家の寄贈作品の学内展示も増える

学園事務局長 平成11年卒 古賀喜憲

なお学園では世界的なグラフィックデザイナーであり利根山先生から学び卒業後も先生と親交の深かった青葉益輝氏(S33年卒)の作品をはじめ、本校卒業後画家やデザイナーになられた諸先輩方の作品の寄贈も受けております。頃年では創立125周年を記念して洋画家であり一般社団法人新日本美術院理事長でもいらつしやる太田國廣氏(S36年卒)より生命力溢れる作品『ワンダーランド・母子』(1982)を寄贈頂きました。また国内外で活躍される著名な版画家でいらつしやる高柳裕氏(S34年卒)より、今年7月に完成した新理科館の開館を記念し自然科学をモチーフにした陶板作品を寄贈頂きました。これらの作品は新理科館・2号館の高層階・カフェテリアなどに生徒も観られる形で展示されています。このようなえり抜き作品を通してのびのびと芸術に触れる機会を生徒は得ております。大変ありがたいことです。心より感謝したいと思っております。数々の素晴らしい作品が皆様をお待ちしております。ご来校の際は是非ご覧ください。



ウクレレを抱いた 渡り鳥

ミュージシャン プロデューサー

藤井康一さん

ふじい こういち (昭和51年卒)



コロナでは活動停止状態にあったその反動からか、藤井さんは昨年今年とソロアルバム「UKELELE JIVE」を立て続けにリリース、さらに今年に入つてからは全国のライブハウス、ラジオ局での活動を再開した。その活動ぶりは半端じゃない。10月のスケジュールを見せたいと浜松でセッションに参加した数日後には札幌に飛んでまたギターリストとセッションその翌日には新宿でライブ、その3日後には鹿児島でソロライブそしてまた一週間後は高槻といった具合だ。まさに渡り鳥状態で年末までびっしりだ。「もう40年以上の付き合い合いのあるライブハウスだつたりラジオ局だつたりで、声がかかればでかけます」。昔は移動もあつて大変だつたが今は基本一人ですしウクレレ一本であらゆる音楽にも舞台にも対応できるので移動は苦にならないという。「常に新しいミュージシャンとの出会いや音楽の発見があつて楽しいのです」。ことし65才になる藤井さんのバイタリティと意欲は衰えるどころか高まるばかりだ。

伝説のバンドを率いる

1978年にヤマハ主催のアマチュアバンドコンテスト「East West」で最優秀グランプリを受賞した「ウシヤコダ」というR&B（リズムアンドブルース）バンドのことをご存じだろうか。「East West」は後に「カシオペア」や「サザン・オールスターズ」などプロデビューして活躍することになるバンドを多く輩出した伝説のコンテストである。そこでのグランプリ受賞という快挙はいまでもファンの間で語り草になっているが、そのバンドのリーダーが実は海城出身だと聞いてまた驚いた。79年にファーストアルバムを出してバンドとしてプロデビュー。その後バンドは解散再結成という紆余曲折を経て現在も活動を続けているが、藤井さんは「もつと自由に音楽に向き合いたい」という思いから96年ころからはソロ活動をメインにして現在に至っている。

高校時代はバスケット部

藤井さんが音楽に目覚めたのは小学生のころという。ウクレレを弾きながら漫談をする牧伸二に憧れて父親にウクレレを買ってもらい必死にまねながらウクレレを弾けるようになったのが始まりという。中学時代はフォークやロックの全盛期、地元で音楽仲間とバンドを組んで互いに切磋琢磨。「今のようにネットなどはない時代ですから、レコード

遊びの精神を失わず

ところでウシヤコダってどういう意味か聞いてたら「カリブ海周辺国のカリブ」とい音楽の歌を聴いていたウシヤコダ、ウシヤコダと聞こえるフレーズが頭に残つて。with a bunch...と歌っているらしいのですが。この人を喰つた諸謹慎が藤井さんの音楽の根底にあるようだ。一筋縄では取まらない。藤井さんは、シンク、ロック、ジャズ、ブルース、ソウル、カントリから日本の昭和歌謡、さらにウクレレ漫談まであらゆるジャンルの歌、語り、演奏をいとも簡単そうにそして楽しく演奏し披露する。音楽評論家の大伴良則氏はそ

んな藤井さんを「演じ奏する器種は豊富でしかも歌も上手くユーモアや演技力も加えれば多才に留まらず、異才、鬼才、と呼ぶ人もいてその気持ちはよく分かる。しかし私はそれだけではまだ不満だ。面倒だからここに手にするソロアルバムを機会に、天才と呼んでしまふ事にした」と藤井氏のCDのライナーノーツに寄せている。

プロを驚かすプロ

音痴のわたしでも、日本人でこんなブルースを歌える人がいるのかと驚いたほど素晴らしいと思う。しかもその伴奏はウクレレ一本であつたりテナーサックスを吹きながらという芸当をみせるのだからかの評論家の評論もうなずける。藤井さんのライブが人気なのは常に全力投球でその内容は音楽のプロをうならせるものでありながら一般の観客の心をもつかむというその音楽の実力とエンターティナー性にあるのだろう。「いまの社会は我々の時代の熱気みなないものは望めないでしょうが、海城にも私のような人がいるのだということを知ってもらえたらうれいす」とは藤井さんの若者へのメッセージだ。藤井さんの活動ぶりはこちらから

<https://www.facebook.com/jumpin.jive.tjui>



(小西洋也 記)

われら 海城人

49才で渡米

LA拠点に音楽活動

ミュージシャン・作曲家

小松 哲さん

こまつ あきら (昭和63年卒)

小松さんは現在ロサンゼルス(LA)を拠点に音楽活動をしている。授賞式等のセレモニーでギター演奏すること、CMや映画用の楽曲を作曲して「ライブフリー・ミュージック」という音源集提供すること、自らの楽曲を使用してもらうために業界関係者へ売り込むことなどが主な活動だ。「自分はホラーが専門だ」というわかり易いフレーズで売り込みをしている。話をきいていると、最初からアメリカでの音楽活動を夢見てそれにまっ

高校時代

小松さんは高校から海城に入学。文化祭実行委員会でプログラム制作などを担当したほか、フォークソング部ではフォーク・ギターを担当。今の音楽活動の原点の1つだ。理科コースで学んだものの、追試を受けて何とか卒業にこぎつけたらしい。中学時代は「神童」と呼ばれた生徒が、高校入学後に周囲のレベルの高さに圧倒されて伸び悩むと

様々な職業を経験した20年間

ギター講師をつとめた後、フリーランスのギタリスト・作曲家として活動するかわら様々な職業を経験して約20年間の歳月を過ごす。スパーの化粧品売り場販売員、オフィ

話は小松さんの幼少期に遡る。「ボーイズ・ボーイズ/ケニーと仲間たち」というアメリカ映画を見て、何となくアメリカの生活・文化に憧れを抱いたという。本人曰く「トラウマ」。音楽活動をしたかったところとが直接のきっかけではなく、「もう一度アメリカに住みたい。語学学校にでも行こう」と50歳を目前にして思い立つ。現在LAに在住している小松さんだが、取得しているビザは「O1(オーワン)ビザ」(通



ラインにてインタビューを行い、異色の経歴を振り返ってもらった。

しぐらに進んで行ったというわけではどうやらないようだ。学生時代から音楽活動は続いていたものの、同時に様々な職業を経験しながら、49歳にして渡米する道を切り開いた。今回、東京とLA間でオンラインにてインタビューを行い、異色の経歴を振り返ってもらった。

「文転」―アメリカに音楽留学

浪人生のときに「文転」して早稲田大学第二文学部に入学する。このあたりが小松さんの器用さの現れなのだろう。大学ではジャズサークルで活動をしつつ、ジャズ・ギターリストの布川俊樹さんのローディーを経験する。卒業後に就職はせず、ミュージシャンズ・インスティテュート（MI）のギター科（GIT）ハリウッド校に留学。これが1回目の渡米

スでのテレフォン・アポイント、コールセンターでの業務、プリンスホテルの配膳係などジャンルは様々だ。「様々なアルバイトが今の仕事に役立っているのか」と私は質問した。すると「もし音楽一本でまっすぐに来ていたら、今アメリカにいられていないかもしれない」、「日本の音楽業界に深く浸らなかつたことが逆によかつたかもしれない」と小松さんは言う。一方この間、音楽では、2010年上海万博日本パビリオンにおける「岐阜の日」、テレビアニメプリキュアシリーズのバンダイTVCM、JASRACのラジオCMなどの実績も残している。

49歳で渡米―トラウマの解消？

称アーティストビザ」という。ビザ取得を仲介してくれる弁護士に渡米前に相談したところ、「この経歴ならO1（オーワン）ビザが取得できますよ」と言われたそうだ。結果、語学留学ではなく音楽活動での渡米を果たす。渡米後、映画関係者のパーティーに参加した際、アメリカに憧れるきっかけとなった前述の映画「ボーイズ・ボーイズ／ケニーと仲間たち」の主人公役の俳優と会うことができた。様々な経験の末にLAでの音楽活動に至った小松さんに、「器用ですね」と私が言うところ、「開いてる扉があるなら入ってみよう」と考えただけです」と言っていた。

（横嶋良太 記）

魚好きが高じて 水産庁へ

農林水産省水産衛生検査企画官

富澤輝樹さん

とみざわ てるき（平成20年卒）

海城大学の動機

今回海城人に登場して頂く平成20年卒業の富澤輝樹さん。幼い頃から魚をはじめとする生き物に興味を持ち、中学校は生物部がある学校に入学したいと考えていたそうです。海城祭で見学、金魚すくいをした生物部に入学したい一心で、海城に入学したそうです。

学園生活時代

という事で、海城に入り、取るものも取り敢えず、生物部に入学。入部当初は、輸入が解禁されたばかりの外国産のカブトムシやクワガタムシ、食虫植物に凝っていたようですが、元々金魚が好きではあったためか、高校一年生の時に金魚すくいですくった、少し高級な金魚達をきっかけに金魚に興味に移り、海城の図書館で手にした本が、なんと、後に金魚の「師匠」と

金魚との関わりと大学進学

なる私、川田洋之助（昭和46年卒業、執筆の「金魚の衣食住」でした。そんなこんなで、生物部では現役最後となる高校2年生の海城祭で20種類程度の金魚を展示する金魚展を開催まで企画、開催までされたそうです。「金魚と衣食住」の中に書かれていた金魚の品評会、「素人金魚名人戦」が後の金魚人生を変えるイベントになったという奇遇。今思うと凄く縁だった様です。

その素人金魚名人戦とは愛好家を持ち寄った金魚に対して、一般の人が人気投票を行う、アットホームな金魚品評会です。素人金魚名人戦で私、川田に出会った事から、後に入学する東京海洋大学の恩師にもお会いしました。元々、東京海洋大学には学祭を見学し、入学したいと思っていましたが、素人金魚名人戦で恩師にお会いしたことから、金魚をやりたいという思いがさらに強まったそうです。

海洋大学入学後は素人金魚名人戦のスタッフとなり、これまでに30回ほど開催しましたが、今では会全体の運営を行っています。

卒業後の進路と活動状況

令和4年8月に3年ぶりに三子玉川で開催したところ、1日で2200人の方々に越したいただき、金魚の可愛さや美しさを多くの方々に伝えることができていたと思います。

大学と大学院ではフナや金魚の研究を行い、卒業後は魚好きが高じて水産庁に入庁しました。普段の業務で魚の知識が生きていることは少ないですが、漁師や都道府県の方々と話す場面では力を発揮します。今は養殖魚の病気をいかに減らすかを担当しており、魚の飼育に関する知識が比較的業務に生かされています。

そしてこれから

仕事は忙しいですが、ライフワークである生き物達との生活は続けております。昨年には哺乳類（長男）が産まれましたが、飼育する生き物達は減るどころか増える一方で困ったものです。執筆時点で、20年近く飼育しているカメ10匹、メダカ500匹、自分で採集した日本の淡水魚40匹、自分で採集繁殖したイモリ40匹、クワガタ50匹を飼育し



ています。金魚は、残念ながら昨年アライグマの被害に逢い、3匹を残すのみとなりました。対策して再度立ち上げる計画も練っているとの事です。

<https://www.youtube.com/watch?v=IU9BaomJgk&t=29s>



幼少より生き物、特に魚類が好きという思いを趣味から超え、今や国民生活を司る水産省を省庁で追求する立場になりました。これからも趣味を楽しみながら、水産省を支える頼もしい存在になってくれるでしょう。

（川田洋之助 記）





軍国主義の下で少年時代を過ごした人と進駐軍が持ち込んだ民主主義で育った少年達とは精神面において抜け切れない相違がある。行動のバターンは顕著に違う。これらの相違を、海原会誌を通して、相互に認識しようとの企画に痛く共感しました。悠長には出来ません。前者は程なく現世から去るのです。寄稿第一バッターを私に引き受けをさせ

我らの時代

後輩たちへ語り継ぐもの

昭和25年卒 奥山 尚



級長

書道と漢文（不正確で

成績順

全生徒は前年度の学年の成績順に、東西南北の4教室の最後列生徒から見れば右端から座



昭和25年 図書館風景

すの太田先生は櫓の棒を持って教壇に立ち、余所見（よそみ）をしたり、悪戯をしている生徒を見つけると、その生徒を呼び出すため櫓の棒で教壇をドンドンと叩きます。生徒は出ていきません。そのとき級長が犯人の代理責任を負い、教壇に行きます。両手を床につき腹ばい、両足を教壇に置き、尻を先生に向けます。先生は櫓棒で私の尻を相当な強さで度叩きます。「有難うございました」と言うて席に戻ります。他の級長も同じ目に会っています。忘れていないでしょうか？



当時のグラウンド風景

島校長の思い出

S 19年11月3日、明治節の式に登校し、島校長（元海軍中将）が、「今日は降々べき日でないのに雨だ。今の戦争は負けるかもしれない」と述べられたのを私は耳にしました。元海軍中将の「非国民的」発言です。諸兄は覚えありませんか？ 島校長は勇気のあるリベラリストだったのでしょう。気象庁のホームページで東京の天気を確認しました。朝9時から夕方まで立派な雨でした。



第三代校長 島祐吉

予科兵学校受験

私はS 19年12月2年生の時、海城中全体から選ばれて3年の先輩、4年の植木先輩たちと共に江田島の海兵の予科兵学校に受験に行きました。引率者は私がいた2年

の弱い生徒（佐藤）は、最前列に座りました。彼は、将来国会の速記者になるのだと早熟な生徒でした。成績差を平気で見せる差別化制度でした。皆気にしないではないと思います。



2022年度（令和4年）の秋季・東京都高等学校野球大会が今、行われている。東京都は、夏の選手権大会予選は、東西ブロックに分けて行われる。それに対し、春の選抜大会の予選となる秋は東西全部の参加校で対戦が組まれる。今年是一次予選が67校、本選64校（63ゲーム）となった。2008年頃から、7年程OBとして、最初は田中先生について練習に参加させてもらい、他校との練習試合、夏季合宿（福島、新潟）等にも帯同を許してもらった。その活動を通して、最近の高校野球（海城野球）を間近で見る機会に恵まれ、選手達の行動、バターン等も少しずつ



理解できるようになった。海城は今回、一次予選、学習院・法政高を突破、本選進出した。（ベスト64）本選も日比谷、堀越を突破し、ベスト16まで進んだ。ベスト8を狙った、桜美林高校とは12対3の7回コールド負けとなったが、久しぶりに海城野球の存在感を示し、メディアでも取り上げられることになった。

ところで、秋季大会というのは、夏の大会が終わる、主力の3年生が抜けた後で、それまであまり実践の経験の少ない1、2年生が主体

海城野球部70周年

今年の秋季大会でベスト16に進出 存在感示す

元海城野球部副主将 昭和58年卒 松岡清志

4（準優勝3回）の早実時代、次の10年（昭和59年から平成5年）は、帝京がV5（準優勝も2回）の圧巻の帝京時代（関東）は準優勝3回、次の10年（平成6年～15年）は国士館V3、準優勝も2回、日大三もV3、次の10年（平成16～25年）は関東一がV3、帝京がV2、国士館V1（準優勝1）などとなっており、最近の平成26年以降は、東海大菅生V2（準優勝1）、国士館V2、日大三V1（準優勝2）で三強、二松学舎大附属が準優勝3回で続く。常連の上位としては、私の無責任編集となったため、誤りや不足の部分があるが、いつか改訂する機会もあるだろうし、そのときはま

とか、堀越戦のように中心選手が固め打ちする前後を、加えて2、3人で必ずつなげる打線に仕上げていくとか、投手システムは今回のような3人体制で工夫した起用とすると、やり様がある。おそらく今できることはほとんど示してくれたと思うが、今後さらに選手には目標高く、甲子園を描いて練習してほしい。

海城高校の野球部の歴史も70年を超える歴史を持つこととなり、数年前に70年史の冊子をまとめた。理事長、海原会長、野球部初代のOB会長の今の想いに加え、各年代のOBの気持ちや込められた大変読みやすく、かつ読み応えのある内容になっている。各OBにのみならず、現役選手の皆さんにも目を通してもらい、一つのプライドとして心の中に持つてほしいと思う。編集自体は私の無責任編集となったため、誤りや不足の部分があるが、いつか改訂する機会もあるだろうし、そのときはま



まず、オリンピック前の昭和23年（1948年）から昭和38年では、早実がV4（準優勝は1回）、日大三がV2（準優勝2回）、明治・日大二校他がV1（明治は準優勝2、日大二是1）となっている。オリンピック以降、10年毎に区切ると、昭和39年から48年が、日大三のV4、桜美林のV2で、日大三時代と言える。次の10年は早実がV

た、海城野球躍進の記録が新たに加えられたら、と思う。海原会の方々には、いつも多大なる応援と支援を頂き、OBとして非常に感謝しています。これからも暖かく見守り、応援を続けて頂けるよう、お願い申し上げます。



事をこの機会に巡り合いました。このときお互いの仕事ぶりをみて、いつしか一緒に起業しようという思いが募り、前述の通り、平成23年9月に、お互いの苗字の頭文字をとって「株式会社わかたむ」を設立しました。

タイではカステラ現地生産を皮切りに、JAPANESEブランド食品の海外生産、海外展開を推進し、「食」を通じて日本と海外の相互理解を深めています。

昭和に出会い平成で起業し
令和を歩む同期2人

杉和哉・田村栄仁
子会社におけるコンサルタントを皮切りに、各々の関心事を生業にしています。

初のタイの食イベント「THAI FOOD FESTIVAL 2018 in NAGASAKI」の総合プロデューサーを務めました。

また、海外展開とともに、外国人材サポート事業、翻

現在、若杉は祖先が江戸時代から営む長崎県諫早市の老舗和菓子舗「株式会社菓秀苑森長」の総合企画室長として、カステラ事

若杉は野球部・文A・上智大、田村はアメリカンフッ

トボール部・理科コース・東大と、部活動・進路は異なりましたが、その後、大学では共にアメリカンソフトボール部に入部。試合会場であうなどして高校卒業後も交流は続きました。そして若杉は証券会社、田村は銀行へ就職。似通った業界に新卒で就職するも、その後お互いIT企業へ転職。そんな中、平成19年に一緒に仕



若杉和哉（平成2年卒）
長崎県諫早市
「株式会社萁秀苑森長」紹介HP

外国人材サポート事業、翻訳事業、地域商社事業にも幅を拡げ「海外」「人」をテーマにした活動に精力的に取り組んでいます。

田村はFinTech業界でも活動し、「金融×IT」で新しいサービスを創りたいという想いから自動貯金アプリ「finbee」を開発。みずほ銀行、住信SBIネット銀行をはじめ複数の金融機関と連携いただいております。

昭和に出会い、平成で起業し、令和になってもそれぞれの関心事を事業にできる源は、海城での出会いが源泉です。この投稿を機に、裾野が広い海城学園関係の方々との繋がり、いろいろな刺激を受けて成長できればと思います。



田村栄仁（平成2年卒）
自動預金アプリ
「finbee」紹介HP



追悼

平成9年から21年までの12年にわたり海原会会長をお勤めいただきました。就任時の最初の役員会において開口一番卒業生に今以上に親しまれる海原会を目指したい「学園幹事の先生方に大きく運営を依存していた海原会を役員が率先して汗を流し運営をしていく体制にしよう」このようにおっしゃられ即実践を始めた。



役員会の定例化・役員業務の明確化・総会の活性化などの先頭を

立てて推し進められました。

長年にわたり教育関連の大手出版社で副社長をお勤めになられたご経験を生かされ、常に先を見据えて会をけん引されました。海原会に勢いがつ

植木昭夫前会長を偲んで

海原会副会長 昭和41年卒 森山昭洋

いたという実感を持つことができるようになったことを鮮明に思い出します。時に厳しくそして優しくご指導をいただきましたことはとても良い思い出となっています。

あの温厚なお人柄をいつも絶やさぬほほえみは我々を温かく包み込み役員のコミュニケーションも大いに深まりました。植木会長就任を契機に総会参加者も飛躍的に増大、毎年200名

だと確信をしています。

また、こけし研究家としても著書でその収集では日本でも有数の方であったと伺っています。さらに、ライフワークとして万葉集の研究を続けられており一般市民の勉強機関としてNPO法人を立ちあげるなど万葉集の教育・普及にも力を注いでおられました。

経営者としての研究者としての幅広いご経験と知見から海原会を導いていただきました。後輩の一人としてその偉大さに尊敬の念を禁じえません。この多難な時代にこそより高い見地から会への助言などをいただきたかったです。海原会発展のためのご尽力にあらためて感謝を申し上げますとともに心から哀悼の意を表します。

訃報 大沢先生

大沢先生、謹んでご逝去を悼み、生前の暖かいご指導に対してあらためて御礼

先生の和服姿が懐かしい

昭和42年卒 若菜茂樹

いする機会を持てなかつた事が残念です。

大沢先生のこれまでのご指導に心から感謝し安らかに永遠の眠りにつかれる事を心からお祈り致します。



ことは想像に難くない。

同期というものは卒業後に増えることがなく減るばかりだ。しかし、同窓は違う。新たに会おう先輩、上がってくる後輩。海城で学んだ、という一点で繋がるこの縁は縦横無尽に広がっていく。松長くんを偲び集まった同窓の方々を見て、私はその思いを

今年の7月、同期昭和62年卒の松長哲聖くんが亡くなった。まだ53才だった。前日は海城の同期と飲み、帰宅後は奥様と仲良く飲み直し、翌朝早くライフワークである寺社仏閣巡りで小田原に行った。その小田原で突然倒れて、そのまま天国へ。酒が残っていたか、炎天下はきつかったか。血圧が高いのを気にしていた

松長くんを偲ぶ会

縁の真ん中にいた。ラグビー部OB会の方々の尽力で10月に「松長くんを偲ぶ会」が開催された。会ではいろいろ

ときと同じクラスであった。担任は社会科の小林好昌先生だった。小林先生の存命時、海原会の会報には歴代の

昭和62年卒 国井信男



訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

訃報

昭和18	松永 敏州	R 4・5
昭和24	田熊 達夫	R 4・5
昭和26	伊藤 良夫	R 4・4・21
昭和26	鹿野 能弘	R 3・11
昭和28	植田 清志	R 1・8・9
昭和29	太田 吉之	R 4・9・11
昭和29	平野 恵信	R 2
昭和30	池田 昌樹	H 31・1
昭和30	岡本 裕	R 4・2・25
昭和31	大澤 英夫	R 4・4・16
昭和32	秋田 博	R 3・1・19
昭和32	小杉 久夫	H 3・0
昭和32	新庄 信	R 4・5・6
昭和32	溝江 一敏	R 3・7・13
昭和34	伊藤 収	R 3
昭和34	瀬戸 信之	R 3・9・6
昭和35	麻木純三郎	R 4・2・1
昭和36	小田 恒義	R 4・6・28
昭和36	田中 永二	R 4・3・25
昭和36	中村 洋三	R 4・5・12
昭和36	平井 功	R 4・2・4
昭和36	渡辺 弘	H 30・6・27
昭和37	堀 善武	R 4・6・28
昭和41	植田 和平	R 4・3・28
昭和41	小沼 正彦	R 4・5・11
昭和41	ポール和夫玉榮	R 3・6・26
昭和41	橋村 千秋	R 2・5・31
昭和42	山田 修	R 4・9・14
昭和44	鈴木 清繁	R 2・7・13
昭和47	山崎 雄功	R 4・4・11
昭和49	井口 益寿	R 4・7・30
昭和49	七浦 和典	R 4・7・3
昭和54	菅谷 正浩	R 4・4・1
昭和54	山内 康代	
昭和61	三宅 洋平	
昭和62	松長 哲聖	
平成03	草野 亘	
平成13	蓼田 亨	
数学科教員	細川 猛	

昭和61年〜平成5年勤務

が、闘病生活をしていただけではない。亡くなった本人もびっくりしただろう。

松長くんは、同期の六二会、ラグビー部OB会、海原メディア会、海原会と海城の

な繋がりの海城OBが集った。コロナ以降、こんなに多くの海城OBが集まるのを私は見たことはない。松長くんの人柄であろう。松長くんとは高校一年の

小林組やラグビー部OB会の集まりが多数載っていた。社会科とともに母校愛を伝えてくれた恩師だった。松長くんの母校愛に小林先生が強く影響した

新たにした。松長くんの思いを引き継いで、さらに同窓の輪を大きくしていくことをここに誓いたい。

OBによる講演

以前は「コミュニケーション授業」で戦争体験を中学生に語るなど、OBと海城生が交流する機会があったが、新型コロナウイルスの感染拡大以降、OBが校内に入れる機会がなくなっていました。

最近になって、少しずつ状況が変わりつつある。総会や海城祭で自由に立ち入れるのもう少し先のことであるが、感染対策を万全にすることで、海城生の講演という立場でOBが母校を訪れるようになっている。

11月7日、宇都宮祐さん（平成3年）が中学3年生を対象に講堂で講演を行った。



宇都宮さんは大学でマネジメントを学び一般企業に勤めるが現在は独立して講演活動に力を入れている。この日は若者が持つべき冒險心や生きる動機について、海城で過ごした自分の青春時代に重ねて語った。「潔く生き方を貫け」というメッセージは、青春の真ん中にある海城生に生々しく響いたようだ。皆、真剣に聞き入り、挙手や発言をどんどんして、熱い双方向型の講演

となっていた。講演終了後には壇上の宇都宮さんの前に海城生がずらりと並び、意見交換はさらに続いていた。宇都宮さんの講演も良かったが、聞き上手の海城生に、最近の躍進の理由を見た気がした。

宇都宮さんの講演の前月には、文系理系のコース選択の時期にある海城生を対象に、20代のOBが自分の体験を語るという講演が行われたという。少しずつ日常を取り戻し、OBが海城生に寄与できる機会が増えていけばと思う。

（海原会広報委員会）

同期会 昭和62年卒

コロナ下初の新大久保飲み

9月2日、コロナ以降初で、同期と集まりました。

場所は、毎度の鳥良商店新大久保店。新大久保駅の改札前のビルの地下です。

海城OB御用達の感のあるお店のせいか、私たち以外にも6学年上の先輩方が同期会をされていて、先輩方から、私たちの会の乾杯ビールをご馳走になりました。先輩、ありがとう。ございます！



が、先月に急逝された同期の松長哲聖くんに捧ぐ献杯ビールとなりました。ちょっと前に会ったばかりだったのに...

家族や本人がコロナに感染して参加できなかった人もいました。今回はお試し開催ぐらいの気持ちで、近々また集まることとし、散会しました。

同期諸君、昭和62年卒のMLやSNSをやっているの、繋がってください！

（景山昇一）

海志会

3年ぶりに懇親会開催！

の現職国会議員をはじめ、霞が関の省庁に勤務する人を中心に、合計32名が集結する盛大な会となりました。

今年11月1日、日比谷フォートタワーにある「LE PORTER Par Aux Delices de dordine Toranomon」において、海志会の懇親会が開催



会が開催されました。3年ぶりとなる今回の懇親会は、確認して、お開きとなりました。

（平成11年卒 齊藤亮輔）

お詫びと訂正

会報55号に掲載の海原会賞受賞に関する記事で受賞者の名前を「島村結志郎」と記載しましたが、正しくは「島村皓志郎さん」でした。大変申し訳ございません。訂正してお詫びします。

会報54号掲載の永年会費納入者の名簿中、海老原有之氏の卒年が44年になっていましたが41年卒の間違いでした。訂正してお詫びします。

永年会費納入者

（敬称略）

平成11	駒場 悠歩	昭和62	後藤 純一
（追加7千円）		（追加3万円）	
昭和63	野尻 龍二	令和03	高橋 哲伸
平成11	齋藤 昌臣	令和04	小林 拓夢
昭和53	上原 隆司	令和03	清水 拓
平成28	佐原 雄大	平成24	出納 楽
昭和44	野村 実	令和03	千把 凱
昭和54	山内 康代	（5万円）	
（追加1万円）		昭和24	泊 懋
令和04	小嶋 匠実	（5万円）	
昭和26	前田 利一	令和04	亀谷 空
（追加1万円）		（追加1万円）	
平成25	張 天逸	平成14	福岡 健吾
（追加3万円）		昭和33	石原 長夫
昭和35	秋元 孝二	（追加1万円）	
（追加1万円）		令和03	柏木 祐喜
令和03	高橋 昂生	令和03	双川 凜生
昭和23	島方 重義	令和02	秋葉 貴紘
（追加1万円）		令和04	加藤 創太
昭和62	小林 茂樹	平成24	田中 元基
昭和52	吉野 邦久	令和04	川岸 聖和
令和04	東風谷順正	昭和32	鈴木 健義
昭和41	鈴木 莊介	（追加3万円）	
（追加1万円）		令和04	鈴木 我太
昭和56	大嶋 豊嗣	平成26	梶原 宏太
昭和51	吉岡 勉	平成26	梶原 秀太
昭和62	雨宮 哲朗	令和03	浅野 稜英
（追加3万円）		令和04	白澤 周
令和04	高橋 謙	令和04	木寄 大雅
平成19	西岡 亮廣	平成14	黒岩 直輝
昭和27	坂本 誠一	昭和63	米田 穰
（追加2千円）		（追加1万円）	
昭和39	原 尚志	平成03	宇都宮 祐
（追加2千円）		（追加5千円）	
昭和52	唐澤 賢祐	昭和56	古川 裕章
（5万円）		昭和55	野口 毅水
平成28	糸久 和集	昭和48	鈴木 平治
昭和61	尾山 博則	（4万円）	
令和04	浦辺 諒史	（10万円）	
令和04	滝本 圭佑		

永年会費を納入されている方にも、封入作業の都合で、会費の振込用紙が同封されていますが、ご了承ください。

【会報バックナンバー閲覧パスワード】

ホームページの「活動レポート」から会報のバックナンバーの閲覧ができます。
閲覧にはパスワードを設定しております。12月19日までは「reiro.1k」
2022年12月20日からは「2gokan.8」になります。ユーザー名はkaihouです。

海原への連絡はFAXかHPを通じてお願いします

海原会には常駐のスタッフはおりませんので留守番電話の対応を停止しております。
連絡はFAXか海原会公式HPの「問い合わせ・ご連絡」からお願いします。海城学園に電話をかけることは学校の業務の妨げになりますので遠慮ください。

自薦他薦、海城OBのお店情報をお寄せください。
海腹グルメ⑬ 神泉 松見坂 イタリアン

チニャーレエノテカ

予約が取れない店と評判のチニャーレエノテカ。最寄り駅で言うなら神泉駅、松見坂エリアにあるイタリアンレストランである。この店でオーナーシェフとして厨房に立つのが東森俊二さん(平成とだ)。

東森さんが海城高校に入学した昭和の終わり、海城は百周年事業で校舎を建替の真只中であつた。建替前の古びた学食で、友人とおしゃべりをしたのがたまらなく楽しかったという。担任は3年間ずっと化学科の茂木雅之先生。何でも相談に乗ってくれる面倒見のいい先生で、今もクラスの輪があるのは茂木先生によるところが大だという。人の縁を育む海城時代であつた。

イタリアに料理留学

大学時代、アメリカンダイナーのレストランでアルバイトをし、そこで飲食業界の楽しさにのめり込んだ。店を任されるようになり、自分の道は飲食、と決めたからには、キャリアを積もうと東森さんは考えた。大学は中退し、イタリアの料理学校に留学した。外国人向けの料理学校で、世界中から志を抱いた仲間が集まってきた。そこで基礎を学んだあとは、いくつかの名店と言われるレストランで修業をし、本場の味を身につけて帰国。2011年に学芸大学にお店をオープン、その店はお弟子さんに任せ、2015年にチニャーレエノテカをオープンし現在に至る。

お客様の反応みて料理

お店はオープンキッチンスタイルでカウンターが中心。客はシェフの料理をする姿を生で見ることができ、シェフは客の反応を体感しながら料理を作ることができる。この双方向性が自らの料理を高めてくれるのだと東森さんは言う。「お客様の話を聞いて、インスピレーションがわいたら料理のメニューを変えるときもあります」。まるで、即興劇のような楽しい緊張感。その柔軟さと新しいことへの好奇心が店の味になっている。取材をしたのは、晩秋にかとという秋の日。イチ押しは和牛のステーキのブツ撮りをして



ようとしたとて



ろ、オープンキッチンにセイコガニ(メスのズワイガニ)の姿を発見!目をキラキラさせる私に気づいた東森さん。「これ、ちようと食べてみますか?」。まさに双方向!こういうことがカウンターで日々行われているのだろうな、と思った。

セイコガニは、ボン酢ではなく、アリッサ(地中海風のスパイス)なソースとライムでいただく。完全に和の食材であるセイコガニがイタリアンになるのだろうか?そんな疑問を感じつつバクリ。これは確かにイタリアン!素材を生かし手をかけ過ぎないので、アプローチこそイタリアンだが、カニのおいしさをきちんと前に出している。

和牛のステーキは、グリルにかけるまでに肉を絶妙な温度にして、機を見て一気に焼き上げる!シェフの手捌きを見ていればレアと生とは全然違うと理解できる。肉質が柔らかく旨味を感じられる肉はいつまでも噛んでいたい欲望にかられる。つけ合わせのキクイモのチップスがアクセントになり、ソースと肉をうまく繋いでいる。



どうだ!と言わんばかりにカウンターの向こうでツクリしている東森さん。料理も好きだが、なにより人が好きなのだろう。極上の味と時間が、チニャーレエノテカにはある。

予約は前月の1日にHPから。大人気店であるので、海城OBだからといって、予約が優遇されることはない。そういえば、近年の海城は、リベラルでフェアな精神を標榜しているのであつた。海城OBの皆様、予約もフェアでいきましよう。

チニャーレエノテカ

(国井信男 岡本浩太郎 記)

東京都目黒区駒場1丁目5-11
TEL 03(3485)7371
営業時間 18:00 ~ 22:30
最終入店 19:30
定休日 日曜日
<https://cignale.jp/enoteca/>



編集後記

◎ 回だけでしたが久しぶりの対面編集会議。人と触れ合うことの大切さを改めて実感。言いつつ第8波かまた増加傾向。マスクをしている国は少なくなくなったようですがまだ手離す勇気は出てきません。来年こそは終息と思いつつ早3年。付き合いは長くなつたけど絶対に親友にはなれません。(森山)
◎ 海原人の取材相手がLA在住の方だったので、Zoomインタビューをしました。何kmも離れている相手と簡単にリアルタイムで対話ができるのはすごいことですね。海原会も国際的になったといえるでしょう(笑)。(横嶋)

◎ 世間はサッカーワールドカップで賑わっている最中、海原会会報締切を迎えたり、師走を前にてんてこ舞いでは有りましたが、無事編集委員と卒業生の総力を持つてお届け出来るものが出来ました。これからも、海城人の絆を胸にご協力お願い申し上げます。(川田)

◎ 大澤先生の計報は衝撃だった。おろからで、懐が深く、なによりダンディ。お世話になりました。大好きでした。合掌。(国井)

◎ 初めて会報「海原の編集」に関わらせていただきました。在校生・卒業生の方々が、様々なところで活躍されていることに、海城学園の奥深さを感じました。今回、複数の記事にてより深くこの活躍内容を知ったこと、随所にQRコードを埋め込んでいます。スマホなどで読み込んで、より多くの情報をお楽しみいただければと思います。(樵)

◎ 年を取ると時の流れを早く感じると言われます。五十歳を過ぎても一年一年は長く感じるのですが、YURが近い最近のことのようです。(岡本)

◎ 日本人は決めたことやり遂げることは得意だが状況の変化に応じて対応を変えることは得意という人がいる。それはそもそも変化を想定したプランBを事前に用意する発想がないからだ。だが今回のワールドカップの活躍は事前の想定や変化の対応力があつてこそと思う。日本人の戦略的な発想や思考も変わってきたのだろうか。(小西)

編集担当

森山 昭洋 (S 41)
小西 洋也 (S 41)
川田 洋之助 (S 46)
国井 信男 (S 62)
岡本 浩太郎 (H 02)
樵 裕介 (H 02)
横嶋 良太 (H 05)